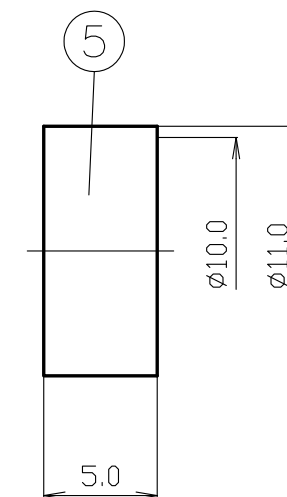
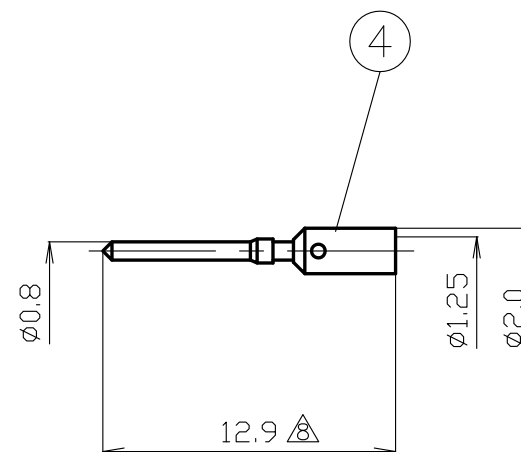
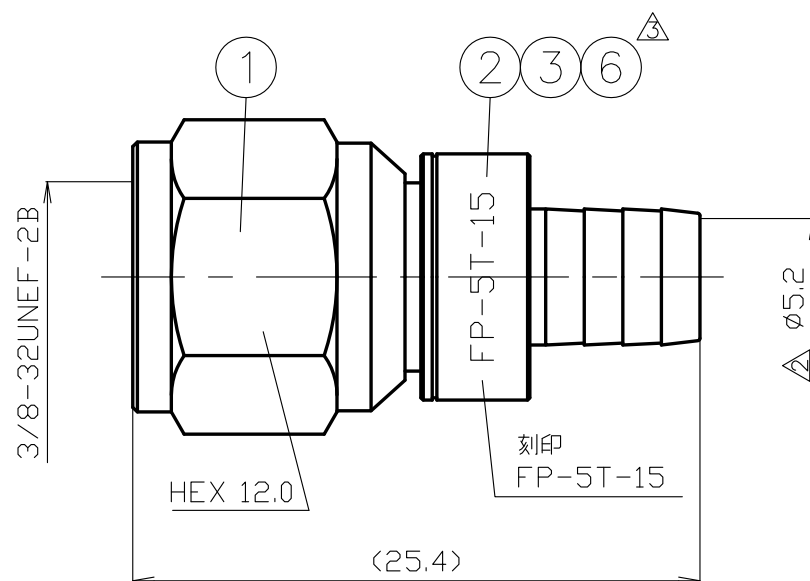


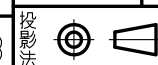
番号	変更・記事	日付	確認
△1	品名変更 FP-5F-15T → FP-5T-15	2002,04,22	済
△2	φ5.1 → φ5.2	2002,09,04	済
△3	ブッシング追加	2003,12,22	済
△4	中心コンタクト形状変更	2005,02,17	済
△5	社名変更	2012,02,07	済
△6	接続ナット推奨締付トルク 追記	2014,09,11	済
△7	RoHS表記 追記	2014,09,11	済
△8	中心コンタクト 13.5 → 12.9 変更・絶縁体 PE→PTFE 変更・外觀面化粧化	2018,11,12	済



RoHS Compliant $Cd \leq 75ppm$	
REMARKS	BRASS: Cd $\leq 75ppm$ PHOSPHOR BRONZE: Pb <4wt%

△6 ※ 接続ナット締付け推奨トルク値は1N・mとする。

7						尺 3/1	製 図	検 図	承 認	確 認	品 名 △
6	ブッシング	黄銅	1	Ni			栗	檜	山	三	FP-5T-15
5	圧着リング	黄銅	1	Ni			'18,11,12	'18,11,12	'18,11,12	'18,11,12	
4	中心コンタクト △4	黄銅	1	Au			原	澤	本	村	
3	シエル	黄銅	1	Ni		単位 mm					
2	絶縁体 △8	PTFE	1	--							
1	接続ナット	黄銅	1	Ni		日付 2002,04,18	投 影 法				
番号	部 品 名	材 質	数 量	処 理	備 考						図 番 J-0811694



株式会社 トーコネ
TO-CONNE CO., LTD.

仕 様 書

品 名 FP-5T-15

No. 0810535-01

図 番 J-0811694

定 格 1 参考規格 JEITA RC-5223C (C15)

2 定格電流 1A

3 定格電圧 AC 150V(実行値)

4 公称インピーダンス 75Ω

5 周波数範囲 3500MHz以下

6 使用温度範囲 -40℃～+85℃

7 使用相対湿度 85%以下



株式会社 トーコネ
TO-CONNE CO., LTD.

項 目		条 件 (JIS C 5402)	規 格
1	構 造 形 状	外観及び構造	4.1及び4.2による。ただし、3/8-32UNEFのねじは、FED-STD-H28を適用する。
2		形状及び寸法	結合部寸法は図番 J-0811694による。
3		材料	材料は、JIS C 5410の8.3.1によるほか図番 J-0811694による。
4		仕上げ	仕上げは、JIS C 5410の8.3.2によるほか図番 J-0811694による。
5		表示	刻印は FP-5T-15とする。
6	電 気 的 特 性	絶縁抵抗	5.2による。 a) 試験電圧500V d. c. ±50V d. c. b) 結合しないコネクタの中心コンタクトと外部導体間 5000MΩ 以上
7		耐電圧	5.1による。 試験電圧500V a. c. (実効値) 電圧印加個所は結合しないコネクタの中心コンタクトと外部導体間とする。 せん絡及び絶縁破壊がないこと
8		低電圧定電流下の接触抵抗	5.4による。 測定電流の種類は直流とし、測定個所は次による。 a) 中心コンタクト相互間 オス中心コンタクトとメス中心コンタクト間 b) 外部コンタクト相互間 オスのシェルとメスのシェル c) ケーブルとプラグ間 長さ20cmのケーブルの外部導体先端とシェル 中心コンタクト相互間 5mΩ 以下 外部コンタクト相互間 5mΩ 以下 ケーブル とプラグ間 10mΩ 以下
9		電圧定在波比 (VSWR)	5.6による。 周波数範囲 0.3MHzから3500MHz ※DIGITAL-5C-FB-TNL、5C用3重シールドケーブルは除く 1.2以下
10	機 械 的 特 性	互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき 異常なく結合すること
11		結合部接続強度	6.8による。 引張り力：294N 軸方向 接続ナットが外れたり 異常な変形がないこと 回転方向 接続ナットが外れたり 異常な変形がないこと

仕 様 書

品 名 FP-5T-15

No. 0810535-02

	項 目	条 件	規 格
12	機 械 的 特 性 ケーブルクランプ 部の引張強度	6. 29による。(JIS C 5402) プラグをケーブルに通常使用する方法 で取り付けした後ケーブルとプラグ間に 0. 294N・mのトルクを加える。 引張り力：196N	軸方向 ケーブルがプラグから 外れないこと
13	繰り返し動作	6. 3による。(JIS C 5402) オスコネクタとメスコネクタを接続 構造を含めた状態で結合・離脱を 繰り返す。 a) 動作回数 500回 b) 試験速度 毎分12回以下	接触抵抗 中心コンタクト間 10mΩ以下 外部導体間10mΩ以下
14	接続ナット締付トルク	1～2N・m	異常のないこと
15	そ の 他 適合ケーブル	5C-FB、S-5C-FB、DIGITAL-5C-FB-TNL、 5C用3重シールドケーブル	

	変更履歴	日付
1	電圧定在波比 (VSWR) 0. 3MHzから2600MHz z 1. 2以下 → 0. 3MHzから2600MHz z 1. 3以下	2005. 05. 09
2	社名変更	2012. 02. 07
3	互換性・接続ナット締付トルク・適合ケーブル 追記	2020. 09. 28
4	参考規格変更 「EIAJ RC-5223A」 → 「JEITA RC-5223C」	2020. 09. 28
5	周波数範囲変更 「2700MHz以下」 → 「3500MHz以下」	2020. 09. 28
6	電圧定在波比 (VSWR) 0. 3MHzから2600MHz z 1. 3以下 → 0. 3MHzから3500MHz z 1. 2以下 (注釈付き)	2020. 09. 28

確 認	承 認	検 印	作 成
三 20.09.28 村	山 20.09.28 本	檜 20.09.28 澤	渡邊 20.09.28 直弘

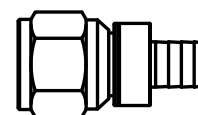
GKQM-7

FP-5T-15 取付仕様書

適合ケーブル

5C-FB,5C用3重シールドケーブル,
S-5C-FB,DIGITAL-5C-FB-TNL

部品構成



シェル



中心コンタクト



圧着リング

推奨圧着工具
・松田電興(株)製 MC-26
中心コンタクト 2.0
圧着リング 5C
・ジェフコム製 #1064ND-357
中心コンタクト 2.0
圧着リング 5C

※HOZAN製 P-716は非対応

図番 J-0811694



株式会社 トーコネ
TO-CONNE CO.,LTD.

製図

栗原
'22,04,15

検図

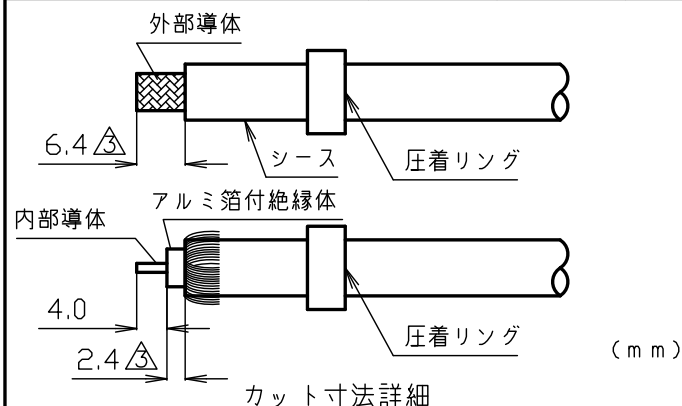
檜澤
'22,04,15

承認

山本
'22,04,15

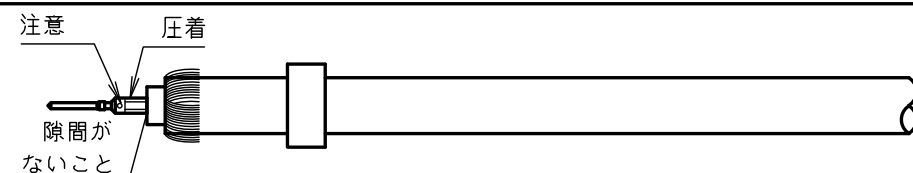
確認

三村
'22,04,15



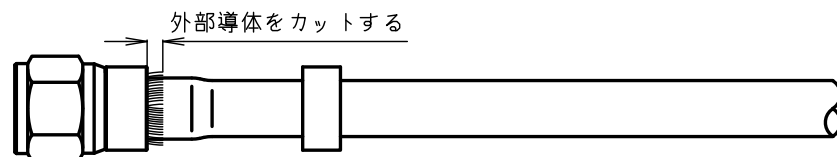
番号	変更・記事	日付	確認
△1	社名変更	2012.02.07	(山本)
△2	接続ナット推奨締付トルク 追記/適合ケーブル追記	2014.09.11	(中本)
△3	ケーブルカット寸法 6.0 → 6.4 / 2.0 → 2.4 変更	2016.12.14	(中本)
△4	接続ナット推奨締付トルク変更「1N・m」→「1~2N・m」	2020.09.28	(中本)
△5	推奨圧着工具:HOZAN製 P-716は非対応 追記	2022.04.15	(中本)

- 1 同軸ケーブルへ圧着リングを通しシースを図中の寸法で切り取る。
次に外部導体を折り返して、アルミ箔付絶縁体、内部導体を
図中の寸法で切り取る。

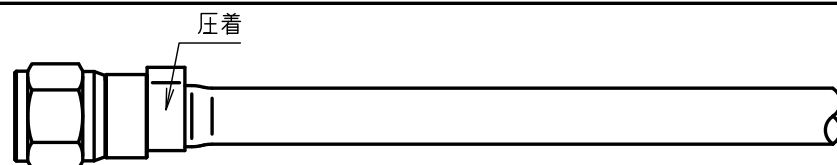


- 2 中心コンタクトを内部導体に装着し圧着工具 2.0 の部分で圧着する。

- 注意 1 中心コンタクトと絶縁体の間に隙間がないこと
2 アルミ箔が中心コンタクトと接触していないか確認すること
3 中心コンタクトの横穴は圧着しないこと(破損の原因になります)
4 中心コンタクト圧着後、手で軽く引張り固定されているか確認すること



- 3 シェルを同軸ケーブルの外部導体とアルミ箔の間に入るように装着する。
中心コンタクトが定位置に入ったことを確認して、外部導体を
カットする。



- 4 圧着リングを図の位置にスライドさせ、圧着工具の 5C の部分で
圧着させ作業を完了する。

※ 接続ナット締付け推奨トルク値は1~2N・mとする。△4